

# 学校運営協議会だより

飯小学校学校運営  
協議会事務局

共に育ち 共に生きる 地域の学校

第 1 号

R3. 7月21日



6月3日(木)、第1回目の学校運営協議会を行いました。授業参観後、学校の運営方針と教育活動について検討を行いました。

その後3つの部会に分かれて、飯小学校職員と学校運営委員がそれぞれのテーマに沿って意見交換を行いました。

## ＝令和3年度学校運営協議会委員＝

神村 大輔：上越教育大学特任教授  
風間 寿春：城北中学校区子どもを育てる会会長  
小林 實：明照幼稚園長  
新井 一昭：ほたる保育園長  
大田 邦夫：若竹寮所長  
相羽 信良：学識経験者  
齋藤 邦博：飯町内会長  
高宮 宏一：学校運営協議会長  
石川 鮎子：PTA副会長  
岩崎 悦子：PTA副会長  
大滝 幸治：前学校運営協議会長  
長谷川和彦：飯小学校長

## ～ 内 容 ～

14:30 授業参観

15:00 協議会

- ・令和3年度役員確認
- ・令和3年度学校経営方針説明
- ・年間行事予定
- ・学校の教育活動（動画視聴）
- ・質疑応答

15:55 分科会

第1分科会 地域単元部会

第2分科会 教育支援部会

第3分科会 安全環境部会

## 全体会 場所：音楽室

- グランドデザインに教師のキャリアアップの項目が新設されているのが良い。学校でのトラブルも多様化している。トラブル対応がしっかりとできる先生が多くいてほしい。
- 9年間の学びのカリキュラムが以前作られていたが、現在はどうなっているのか。  
➡コロナ禍のために、城北中学校区の教員同士が情報交換をすることができない状態である。城北中学校区校長連絡協議会において今年度の取組について共通理解を図っている。
- 子どもたちがiPadを使った学習活動の様子はわかったが、教室外に持ち出して破損した際の対応はどうなっているのか。  
➡カバーは耐久性があり少しぐらい落としても大丈夫なようになっている。学習している際に破損した場合は市に連絡して修繕等の申請を行う。

## 第1分科会 地域単元部会

場所 6年1組教室

- 地域探検は、1学期中に地域の方から話を聞いたほうがよい。要望があればいつでも対応できる。
- 地域の人材バンクを活用しては。
- 食について学習を深めるのであれば、朝市に参加するのもよいが、朝市に出店している人と交流するのもよいのではないか。正善寺工房も活用できる。



## 第2分科会 教育支援部会

場所：音楽室

- 低学年になるにつれて日々のトラブルが絶えないということだが、どうしてトラブルが起きてしまったのか、どうしたらよかったのかを押し受ける指導ではなく、問いかける指導をすることが大切ではないか。
- あいさつは人権教育の基本でもある。就職するときもあいさつが一番大事になる。
- 大学生でもあいさつに個人差がある。「あいさつのお持ちかえり」を。学校内のあいさつが学校の外に広がってきたら本物である。
- 子どものあいさつの仕方は、子どもの様子を知るバロメーターにもなる。



## 第3分科会 安全環境部会

場所 6年2組教室



- 地域の見守りのチームワークがよい。
- 子ども110番の家がもっと多くなると不審者への抑止力になるのだが。
- 児童は子ども110番の家の場所を本当にわかっているか心配である。  
→防犯集会の下校時に確認する。
- 「見知らぬ人から声をかけられたら」という教育がされている時代である。

地域の大人はもっと子供にとって身近な存在になることが大切である。

- 滝寺から上昭和町にかけての道は勾配がある。子どもは転びやすいし、自動車もスピードが出てしまう。本当に気を付ける必要がある。
- 来年度の学校での交通安全教室では、警察に依頼してスタントマンによる事故の再現を見せて、事故の危険性や怖さを感じてもらってはどうか  
→警察に依頼済み。来年度具体的に計画を立てる。